

労調協だより

労働調査協議会 「2016年度 定期総会」のご報告

会員各位におかれましては、定期大会などで日々ご多忙のことと存じます。
労働調査協議会「2016年度 定期総会」が、7月20日(水)にホテル ラングウッドにおきまして、会員各位のご協力により成功裡に開催され、今後1年間の活動方針を決定致しました。以下、総会の決定事項につきまして、ご報告申し上げます。今後とも、より一層のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本総会は、議長に並木泰宗氏(連合 総合企画局 企画局兼秘書室 局長)を選出し、進められました。議事に先立ち、理事を代表して逢見直人代表理事、小倉義和専務理事から挨拶がありました。その後、議案の審議に入り、事務局より2015年度の調査研究活動および組織・財政報告、会計監査の井上友孝氏(JEC連合 前・組織政策局 局長)より会計監査報告が行われました。引き続き、事務局より2016年度の活動方針、役員選考委員(私鉄総連 企画調査局長 衣幡義男氏、日教組 書記長 清水秀行氏)を代表して衣幡義男氏より2016年度の役員改選がそれぞれ提案され、全議案とも満場一致で可決されました。

最後に、新役員を代表して平田雅則理事から挨拶があり、議長挨拶をもって終了致しました。

【主な決定事項】

- (1) 調査研究活動の推進では、以下の点に重点的に取り組むことを提案し、承認されました。
 - ① 労調協独自の調査研究である共同調査「第4回 次代のユニオンリーダー調査」について、組合役員のキャリアや男女平等参画、労働組合の社会的責任といった点に着目し、さらなる分析を進めて提言をまとめ、情報誌『労働調査』で報告します。
 - ② 労調協が独自に取り組む調査研究テーマについては、事務局内で検討を進め、企画委員の協力を得ながら、企画委員会、理事会による審議の上、次年度以降の定期総会で提案することになりました。
 - ③ 組合活動に役立つ調査に向けたユーザー・ニーズの的確な把握に、努めていくことになりました。
 - ④ ユーザー・ニーズに対応するデータ処理体制の整備を進めるとともに、変化する情報処理環境に合わせながら、労調協独自開発の集計・分析システムをカスタマイズしていくことになりました。
 - ⑤ 調査情報管理への一層の強化に努めつつ、統計・社会調査の水準向上に寄与するため、労調協が実施した共同調査データを整理し、「東京大学社会科学研究所SSJデータアーカイブ」への寄託を進めます。
- (2) 会員組織の充実と拡大については、以下の点に重点的に取り組むことを提案し、承認されました。
 - ① 会員のニーズに的確に対応できる「コンサルタント」機能の充実を図るために、専門的な立場から積極的な協力体制を築いていくことになりました。
 - ② 労働組合間のネットワークづくりの一環として、共同調査あるいは同一テーマ等による調査をもとに、調査実施組合における「意見交換会」を開催することになりました。
 - ③ 事務局体制に関しては、継続雇用者の契約満了に伴い、新たな調査研究員の補充など次世代を見据えた調査研究体制の整備を図っていくことになりました。
 - ④ 「労働調査セミナー」、情報誌『労働調査』、「労調協ホームページ」の内容の充実を図り、情報発信機能を強化していくことになりました。
 - ⑤ 会員組織の拡大に関しては、理事会および事務局が引き続き会員組合各位の御協力をいただきながら、積極的に会員組織の維持・拡大に努めていくことになりました。

【2016年度新役員】

理事	連合 事務局長	逢見 直人	理事	J P 労組 副委員長	増田 喜三郎
理事	情報労連 副委員長	平田 雅則	理事	自治労 書記長	福島 嘉人
理事	電機連合 書記長	神保 政史	理事	事務局	小倉 義和
理事	基幹労連 事務局長	神田 健一	理事	事務局	加藤 健志

会計監査	全印刷局労組 参与	荒川 洋
会計監査	J E C 連合 (前) 組織政策局 局長	井上 友孝

「第169回 定例理事会」のご報告

総会終了後、引き続き「第169回 定例理事会」を開催し、代表理事として逢見直人、平田雅則、神保政史の各氏、専務理事として小倉義和を互選し、加藤健志を事務局長に選任しました。